



2017・12・1

第 291 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

改憲勢力が草の根での「国民運動」を宣言

日本会議が改憲へ「決起集会」

日本会議と同会議議員懇談会は 11 月 27 日、改憲に向けての事実上の決起集会ともいふべき「設立 20 周年記念大会」を開き、自民党、希望の党、日本維新の会の 30 数人の国会議員を含む 2000 人が参加しました。

集会には、安倍首相が、「自由民主党は国民に責任を持つ政党として、憲法審査会における具体的な議論をリードし、その歴史的使命を果たしてまいります」とのメッセージを寄せました。

日本会議議連の新会長に就任した自民党の古屋圭司衆院議員は「結果を出す、実現するのは国会議員に課せられた使命。全国から集まったみなさんは、正しい理解を推し進めていく国民運動で、われわれの憲法改正に向けての背中をおしていただきたい」とあいさつ。

各党からは、自民党憲法改正推進本部顧問・下村博文元文科相「来年の通常国会にはわが党として憲法改正発議ができる、それを憲法審査会で提案できるよう頑張る」、希望の党・松沢成文参院議員団代表「憲法改正に進むよう希望の党として最大限の努力をする」、日本維新の会・馬場伸幸幹事長

「憲法改正議論は、先頭に立つ」などの決意表明がありました。日本会議と密接な関係にある「美しい日本の憲法をつくる国民の会」の櫻井よし子・共同代表は「憲法改正を本当に急ぎたい。今までの努力に倍して、倍して国民に語りかけ、憲法改正の機運を全国津々浦々につくりだしていくことが大事だ」とゲキを飛ばしました。

九条の会と対決姿勢をむき出しに

集会では日本会議地方議員連盟の松田良昭会長が「一つは小選挙区 289 に憲法改正推進のための組織をつくる。それは自民党支部長が中心になっていただき、われわれ地方議員も入り、日本会議の皆様方にはいっていただく、相手はまさしく『九条の会』や護憲派なんだろうが、そんなものには負けないような多くの人たちが入っていただけるような組織を作っていきたい。それは選挙区にとどまらず津々浦々にさまざまな形の組織を作っていくことを決定しました。また来年 5 月 3 日にはその組織を挙げてフォーラムを開催し、憲法改正の機運を高めたい」と語りました。

集会は「我々は、憲法改正実現のための

正念場を迎えている」「我々は、この『誇りある国づくり』への参加を次代の青年達にも広く呼びかけ、世代を超えて一致団結し、ここに力強い国民運動を推進する決意を新たにする」との宣言文を採択しました。

改憲案「教育無償化」は棚上げ

【自民党改憲推進本部】 自民党憲法改正推進本部は11月28日全体会議を開き、改憲項目の一つに掲げた教育の無償化について議論しました。

会議では、「自民党は先の総選挙公約で『教育の無償化・充実強化』を改憲論議のテーマに掲げたが、憲法に『無償』と書くことを約束したわけではない」との渡海紀三朗・元文部科学相の発言などがあり、無償化を明記すべきとの意見はでませんでした。党内では財源確保が難しいとしてこれまでも「無償」と書くことに積極的意見はありません。

代わりに賛同を得たのは、2012年の党の改憲案で示した現行の26条1、2項につづけて3項に「教育環境の整備に努めなければならない」と努力義務の規定を書く案を採用することです。ここに「個人の幸福の実現」といった内容を追加するとの意見も出て、調整をすすめることになりました。

推進本部はこの日で4項目についての2巡目の議論を終え、今後は党内の異論や公明党等との意見の違いを調整することとし、年内にもう一度全体会を開く予定です。

草の根の運動決意し設立総会

【山梨県甲斐市／甲斐市9条の会】 甲斐市9条の会は11月26日、同市で設立総

会を開き、80人が参加しました。

呼びかけ人代表あいさつで、小松功さん（医師）は「子や孫の時代も戦争を起こさせないために、草の根の運動を広げ、憲法改憲阻止の行動を」と訴えました。

総会では「安倍政権の戦争法強行、9条改憲の動きに対して、力を合わせ9条守る行動する会にしよう」との設立趣意書を採択。3000万署名推進や若い世代への参加を呼びかけるなどの活動計画を確認しました。

辺野古募金共同代表の菅原文子さんが記念講演し「憲法9条を支えているのは、基本的人権と国民主権、平等原則。9条が脅かされればこの3つとも危うくなる。このことを広く市民に知らせていくことが大切です」「個人がたたかう力をつけて、行動しよう」と呼びかけました。

参加者から「安倍首相は北朝鮮問題を理由に軍備に次々とお金を使っているが、どれだけかけても解決しない。憲法9条の力で平和を守る、そのためにもこの会を広げていきたい」と感想がだされました。

3団体が3000万署名よびかけ

【長崎県／九条の会など】 「長崎県九条の会」「憲法改悪阻止長崎県共同センター」「戦争への道を許さない！ながさき1000人委員会」の呼びかけで19日、「安倍9条改憲NO！憲法生かす全国統一署名長崎行動」が長崎市鉄橋で取り組まれ、約150人が集いました。

各団体代表らがりレートーク。県平和センターの松田圭治議長は、佐世保での米軍のLCAC（エアクッション型揚陸艇）の夜間訓練強行や沖縄でのヘリ墜落など「い

「たいこの国の主権者は誰なのか」と憤りの声を上げ、被爆者の森内寅さんは「生きている限り頑張って憲法改悪だけは絶対に許さない」と力を込めました。若者でつくる市民団体「N-DOVE」の筒井涼介さんは北朝鮮問題にふれ「安倍総理、外交努力をせず圧力のみで解決しようとするなんて、どんだけ怠けてるんですか。ちゃんと仕事してください」と訴えました。

署名をした21歳の女子大学生は「長崎に生まれて子どもの頃から平和について勉強してきたから憲法は守りたい」と語りました。署名用紙を20枚持ち帰る人も、1時間で257人分の署名が寄せられました。

署名のよびかけにはずむ対話

【宮城県／宮城県内九条の会連絡会】

宮城県内九条の会連絡会は28日、定例宣伝を仙台市の繁華街でおこない、安倍9条改憲反対「3000万署名」を呼びかけ、市民や労働者、高校生が次々に足を止め、ペンを握りました。

仙台市宮城野区の男性(85)は、戦時中、仙台空襲で自宅が焼けて無くなったといいます。「9条を変えようとするものたちは、戦争がどれだけみじめなものか知らない。改憲は絶対に反対だ」と力を込めます。

15歳と16歳の女子高生が「自衛隊が武器を持って海外に行くのはダメ。9条を変えないでほしい」とそろって署名しました。

「9条はなんで変えなあかんの？」というのは大阪府茨木市から転勤で仙台に来ている女性(46)。「北朝鮮の問題はあるけど話し合いで解決してほしい。憲法を変えようという議論は拙速すぎる」と話しました。

ハンドマイクを握った同会事務局の相原研一さんは「二度と戦争をしないと誓った憲法を覆し、安保法制により海外で武力行使できるよう自衛隊を憲法に書き込むことは許されない。3000万人の声を集めて安倍9条改憲を阻止しよう」と訴えました。

団結したで力憲法守り抜くことを訴え

【新潟市秋葉区／9条の会など】

秋葉区の9条の会、平和連絡会など4団体は19日、区内で戦争法廃止、憲法9条改悪反対の58回目のスタンディング宣伝を実施しました。

50人が参加し、総選挙で野党統一候補として当選した菊田真紀子衆院議員も参加しました。菊田議員は「総選挙で新潟では野党が四つの議席を得た。安倍暴走政治を止めようとの県民の強い意思の表れだ。国民の理解を得ていない9条改正は許されない。皆さんの思いを受けとめ、ともに行動していく」と述べました。

9条の会の板橋育夫事務局長は「私たちが送りだした議員、思いを受け止める代表がここに立っている。団結の力で平和憲法を守ろう」と呼びかけました。

共産党の倉茂政樹市議は「安倍首相の野望は、戦争する国づくり、国民の基本的人権を奪うことにある」と指摘。青野真一市議(無所属)は「団結して立憲主義、民主主義を守っていきたい」と訴えました。

参加者の島倉美代子さんは「ほとんど参加しているが、子や孫を戦争に行かせないという思いだけです」と話しました。

9条に自衛隊書き込む危険を訴えて

【札幌市東区／東区9条の会】

東区9

条の会と東区憲法共同センターは 23 日、「3000 万人署名」の宣伝行動を行いました、時折冷たい小雨が降る悪天候をついて、30 人が参加。東区の 9 条の会、革新懇、新日本婦人の会の代表がマイクを握りました。

「安倍政権は、新たに憲法 9 条に自衛隊の存在を書き込み、空文化しようとしています。改憲への動きが強まっていますか、3000 万人署名を集めて、憲法 9 条の破壊は許さないの国民世論を強めましょう」「日本が再び海外で『戦争する国』にはさせない」「戦争は嫌だの声を上げ続けましょう」とこもごも訴えました。

買い物客や地下鉄から降りてきた人たちが足を止めて、「戦争はだめです」と次々に署名しました。

9 条の役割について意見交換

【新潟県／県内 9 条の会】新潟県内の 9 条の会は 18 日、新潟市で全県交流会を開き、30 人が参加しました。安倍改憲発議を阻止するために 9 条の会としてどんな運動で、どんな役割を果たすのか議論しました。

報告した県 9 条の会の工藤和雄事務局長（弁護士）は、改憲勢力が柔軟な戦略と地に足がついた運動で「命がけ」のたたかいを挑んでおり、一方、反対勢力は 3000 万署名運動がやっとエンジンがかかったばかりで打ち勝つ強力な態勢と決意を固めなければならないと強調。すべての地域で署名運動の学習会開催、そのための講師派遣、Q & A の作成、10 万枚のカラーチラシ作成を報告し、持てる力を 100% 発揮するだけでは足りず、署名を集める協力者を 1 人、2 人と広げることなどを訴えました。

事務局の川俣幸雄氏は、総選挙で市民と野党の共同が前進したことを共通認識に、半数前後を得票した力をヨコに広げ、署名の推進力にすることを強調しました。

交流では、新潟大学 9 条の会が「3 千万署名と 3 千万対話が必要、国会発議を阻止するためにも、選挙並みに構えてやらないと押し返せない。北朝鮮の問題もあり、ヒバクシャ署名とあわせてやるのが効果的。学生に戦争のリアリティーを知ってもらうために、写真パネル展が重要だ」と発言。

阿賀野市 9 条の会は「各地域で目標を持つ必要がある。3 千万やるには 1 万は必要。全戸訪問活動をしなければならない。高い目標だが不可能ではない」と強調しました。

元市長も参加し超党派の運動へ

【愛媛県新居浜市／にいほま憲法 9 条をまもる市民の会】にいほま憲法 9 条をまもる市民の会はこのほど第 13 回総会を開きました。佐々木龍元新居浜市長をはじめ、思想、信条、党派を超えて 150 人が参加。

曾根康夫代表世話人は「いつ改憲の国民投票がおこなわれようとも負けない国民運動を起そう」とあいさつしました。

高山佳奈子京都大学大学院教授が記念講演し、「違憲・違法がまかり通っている日本の利権主義を立て直さなければならない。『憲法を生かす全国統一署名』に取り組もう」と呼びかけました。

月 2 回の街頭宣伝を国民投票まで続けるなどの活動方針が提案されました。

シール投票や全戸訪問の方針確認

【宮崎市／大宮 9 条の会】大宮 9 条の

会は 25 日、市内で「11 周年のつどい」と第 12 回定例総会を開催しました。

田中哲史代表世話人があいさつし、「衆院選後、安倍内閣の暴走がまた始まり、特に 9 条を変える動きが活発になっている。皆さんの活発な討論への参加で改憲勢力の動きをストップさせるような方針を採択しましょう」と述べました。

「八紘一字」の塔を考える会との共催で詩人の南邦和さんが「新しき村と『八紘一字』—昭和 100 年—2 つのモニュメント」と題して記念講演しました。

総会では参加者から「テニスのサークル仲間に 3000 万署名をお願いしたら快く署名してくれた』『『9 ちゃんだより』(ニュース)での発信を続けてほしい」などの報告や発言がありました。

「街頭での 3000 万署名行動やシール投票などの宣伝行動、宣伝カーを出し、全戸訪問を企画する」などの総会方針と新しい世話人を確認しました。

改憲派に国民投票断念させる運動を

【名古屋市緑区／緑区「九条の会」連絡会】 緑区「九条の会」連絡会は 26 日、八法亭みややっことして落語で「憲法噺(ばなし)」をしている飯田美弥子弁護士を迎えた「憲法を考えるつどい」を開き、300 人が参加しました。

飯田氏はユーモアを交え、暮らしに息づく憲法や自民党改憲案など縦横に語り、会場は笑いと拍手が何度も起こりました。「憲法では、13 条によって個人が自由に生きていいよと保障している」と強調、言論統制や排除が懸念される自民党改憲案は個人の

尊厳に土足で踏み入れるものと厳しく批判。

「子どもたちに絶望を手渡しちゃいけない。戦争法廃止、改憲阻止の声を大きくあげていきましょう」と話しました。

地元のフォークバンド 2 組が「ずうーっと 9 条隊」を結成。平和、憲法、福島をテーマに 4 曲を披露しました。

事務局の池田憲一さんは、「憲法は、いま戦後最大の危機。守りきれぬか一人ひとりの頑張りにかかっている。改憲勢力が国民投票しても負けると思わせるために、3000 万署名を成功させよう」と呼びかけました。

講演を聞いた女性保育士は、「未来のために若い人たちも巻き込んで、憲法の防波堤をつくりあげなきゃいけないですね」と語りました。

北朝鮮問題は対話で解決を

【北海道／医療九条の会・北海道】 医療九条の会・北海道は 25 日、平和新聞編集長の布施祐仁氏を迎え、札幌市で講演会を開き、会場いっぱいの 130 人が参加し、熱心に耳を傾けました。

布施氏は、自民党は対話しても、いままで裏切られてきたから意味がない、圧力しかないと主張しているとして、北朝鮮とアメリカが戦争になった時、甚大な被害が出るのは韓国や日本ですと告発しました。「トランプ大統領が米本土で戦争やる気はないとはっきり言っています」と強調しました。

大学 4 年生の山谷聡さん(23)は「北朝鮮問題は、ホットな話題です。やはり武力ではなく、対話で解決するのが重要だとわかりました」と話します。

メモをいっぱい取って、真っ赤になった

資料を握りしめたのは、中央区の女性(46)。

「安倍首相がなぜアメリカに従属するのか、自分でいろいろ調べました。おじいさんの岸信介氏ができなかったことをやっている」と想像がついたけど布施さんの話を聞いて疑問が解決できました」と語りました。

沖縄基地をつうじ憲法を考える

【兵庫県／九条の会・兵庫県医師の会】

九条の会・兵庫県医師の会は、市民シンポジウム「沖縄から考える改憲と国防」を25日、神戸市で開き、100人を超える市民が参加しました。安倍政権による「戦争する国づくり」がすすむなか、憲法を変えなければ国は守れないのか、米軍基地がなければ国は守れないのか考えようと開かれました。

沖縄民医連の仲西常雄医師が、米軍による土地の強制接収・基地建設や犯罪、事故など県民へ人権侵害と県民のたたかひの歴史、医療現場での体験を語りました。

元沖縄タイムス社会部長の屋良朝博氏は、米海兵隊が日本本土から沖縄に移転し、土地を強制収用し基地が拡大したことを指摘。米中海軍の共同演習など、中国を巻き込みながらアジア太平洋地域の安全保障が進んでいることを紹介しました。

元内閣官房副長官補の柳澤協二氏は、北朝鮮問題について、外交による解決しかないことを強調。核兵器廃絶とともに基地問題を国民全体の課題として示しました。

シンポジウムでは、日米安保条約や南シナ海の南沙諸島問題について議論し、沖縄から基地問題を発信し続けることや、アメリカとの一体化を深めるのではなく、アジアの中で誇りを持って生きていく道が提起

されました。

<提案>

全戸訪問活動の経験交流を

【北海道／釧路市民アクション】 安倍9条改憲NO！釧路市民アクションキックオフ集会を持ちました。

全国市民アクションに賛同して。釧路でも署名活動に取り組んで行くことが確認され当面2万筆を目指すこととしました。

具体的には釧路九条の会と連携し、毎月9の日行動(幣舞橋)での署名活動を合同で取り組むことや、公営住宅を重点的に戸別訪問し署名活動を行うこととしました。

戸別訪問は、訪問販売と間違われたり、不審者と見なされることもあるので「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名をお願いします」のカラー名刺を作成し100均で購入した吊り下げタイプの名刺入れを首からかけて玄関先での対応に活用することにしました。(カメラ付インターホンにも対応)

名刺の裏面には「呼びかけ団体名と電話番号+署名取り扱い団体名と連絡先・TEL」を印刷し必要な場合は渡せるようにします。

またぜんりんの住宅地図を活用して公営住宅の棟毎のチェック表を作成し、後日再度訪問活動をする場合に備える予定です。

まだテスト段階ですので当面2人一組で行い経験を集約して改善を図っていきたいと考えています。

各地での戸別訪問の署名の経験を共有できれば助かりますので皆さまのご協力をお願い致します。